

## 22日 地域おこし協力隊・地域おこし企業人活動を報告

町内で活動する地域おこし協力隊と地域おこし企業人の活動報告会が総合福祉センターで行われました。地域おこし協力隊9人と地域おこし企業人1人が町民など約20人の前で日ごろの活動について報告しました。農業支援員2年目の酒井美和さんは、「栽培する作物も決まり、就農への準備も進めていきたいです」と最後の1年となる次年度への意気込みを語りました。



## 23日 地震によるハスカップの被害状況や今後の課題を考えるハスカップフォーラム2019

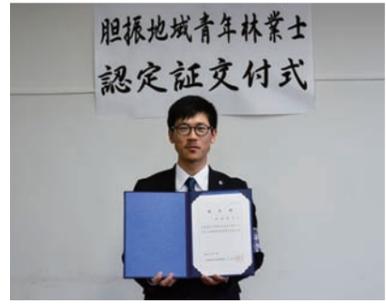
総合福祉センターでハスカップフォーラム2019が行われ、町内の農家など約50人が出席しました。フォーラムでは、厚真産ハスカップブランド化推進協議会から地震によるハスカップの被害状況が報告されました。講演では、胆振農業改良普及センターの沼田耕作主査が地震後のハスカップせん定の方法について話しました。山口農園（宇隆）の山口善紀代表は、全国からハスカップへの復興支援をいただいたこと、地震により注目度が高まる中、継続して全国に関心をもってもらうためハスカップ商品の販売に取り組んでいることなどを講演しました。



震災後のハスカップ栽培の注意点について話す胆振農業改良普及センター沼田主査

## 26日 丹羽智大さんが町で3人目の青年林業士に

丹羽智大さん（本町・31歳）が北海道の「胆振地域青年林業士」に認定され、役場で認定証交付式が行われました。青年林業士は地域の森林づくりに強い熱意と意欲を持ち、指導性を有している後継者を北海道が認定しているもので、町内では3人目。丹羽さんは「これからも技術を磨きながら、林業の魅力をもっと伝えていきたいです」と抱負を述べていました。



## 27日 東日本大震災で被害を受けた釜石市の小学生らが厚真町で交流

東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県釜石市の小学生や高校生ら5人が3月26～29日に町を訪れ、町内小学生や親子などと交流しました。交流は、東日本大震災で母親と自宅を奪われた釜石市立鶴住居小学校5年の藤原菜穂華さん（11歳）が震災当時、北海道から学生やボランティアが支援に来てくれたことから恩返しの思いを込め企画。5人は2日間、町内の子どもや親子と森遊びや本の読み聞かせなどで交流しました。藤原さんは「震災はつらい出来事でしたが、おかげで厚真町の人と出会うことができました。9月から募金活動で集めたお金は、子どもたちの居場所づくりのために使ってください」と話していました。



東日本大震災の教訓を伝える絵本の読み聞かせをする藤原さん

## 6日 町ににぎわいを共同仮設店舗を整備

地震により店舗などが被災し、操業できなくなった事業所などの再開拠点として、京町地区に共同仮設店舗を整備し、入居者向けの内覧会を行いました。共同仮設店舗に入居するのはカフェ兼ヨガスタジオ、リンパマッサージ、整体院、個人輸出入業の4事業所。3月11日から整体院を再開した丸山聡史さん（45歳）は「安全な場所で営業が再開できて安心しました」と話していました。



町商工会横に整備された共同仮設店舗

## 6日 地震による課題や意見を交わす住民懇談会

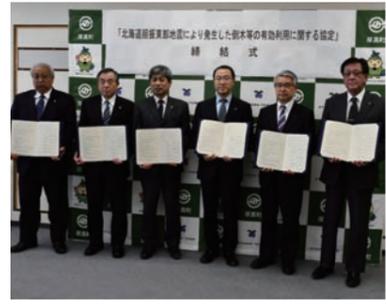
3月6日～4月5日、町民を対象に北海道胆振東部地震に係る住民懇談会を行いました。3月6日は応急仮設住宅の談話室3カ所、3月22日からは総合福祉センターなど4カ所で町から町民に被害状況や災害復旧について説明し、意見交換を行いました。懇談会で把握した課題や意見は、今後策定する厚真町復旧・復興計画の基礎資料として反映します。



3月22日に総合ケアセンターゆくりで行われた住民懇談会

## 7日 地震による倒木を有効利用 町と国、北海道、地元企業など16社が協定

北海道胆振東部地震で発生した倒木を木材や燃料として有効利用することを推進するため、町と国、北海道、協力事業者16社を代表する3社が「北海道胆振東部地震により発生した倒木等の有効利用に関する協定」の締結式を総合ケアセンターゆくりで行いました。協定により土砂崩れなどの災害復旧現場から倒木を撤去し、一般材や製紙用の原料、バイオマス燃料などに有効利用するとともに、利用できない木材の引き受けを迅速に処理することで、復旧工事が円滑で効率的に実施できるよう連携、協力していきます。



右から辻副知事、北海道開発局鎌田事業振興部長、宮坂町長、(株)イワクラ高橋環境事業部長代行、王子木材緑化(株)北海道支店三浦支店長代理、日本製紙木材(株)北海道支店中村支店長

## 22日 13人が皆勤賞を受賞 高齢者大学修了式

厚真町高齢者大学の修了式が、総合福祉センターで行われました。平成30年度は地震により9～11月は休校となりましたが、1年間全課程に出席した学生13人に、学長の宮坂町長から皆勤賞の賞状を授与しました。生徒会長の木下八重子さん（85歳）は「4月からは新たな想いで友情を深め、学び合い、全員で楽しみましょう」とあいさつしていました。

